

1. 件名：福島第一原子力発電所におけるサブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に係る面談
2. 日時：令和3年8月5日（木）15時00分～16時45分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、久川係員
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、サブドレン及び地下水ドレンの稼働状況等に関して、資料に基づき説明があった。

- サブドレン・地下水ドレンの稼働概要、水位変動
- サブドレン及び地下水ドレン（ウェルポイントも含む）汲み上げ量
- サブドレン・地下水ドレンの水質
- 地下水ドレン中継タンクの水質
- サブドレン集水設備移設の概要
 - ✓ 2号機燃料取り出し用構台の設置に伴う地盤改良工事の影響により、近傍サブドレンピット（No. 20及びNo. 21）への流入量低下が懸念されることから、当該ピットの移設（大口径ピットの新規掘削、設備の移設、滞留水比較建屋の変更等）を計画しており、詳細を検討中。本移設の実施の方向性については、8月末までに決定する予定。
- サブドレンへのファインバブル適用について
 - ✓ サブドレンピットへの油分混入により延期していたファインバブルの実設備試験について、8月27日から「No. 201ピット」に、9月3日から「No. 212ピット」にそれぞれ設備を設置し、準備ができ次第、試験を開始する予定。

○原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。

6. その他

- ・資料：
 - サブドレン稼働状況について
 - 地下水ドレンの稼働状況について